

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日: 2022年8月5日

所属学部／研究科・学科／専攻	政治経済学部 / 政治学科
留学先国	オーストリア
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: ウィーン大学 現地言語: Universität Wien
留学期間	2021年10月～2022年6月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	社会学部 <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2022年7月15日
明治大学卒業予定年	2024年3月
留学先大学について	
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:10月～1月 2学期:3月～6月 3学期: 4学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	約 94,000 万人
創立年	1365 年

留学費用項目	現地通貨 (ユ ーロ)	円	備考
授業料	0	0 円	大学間協定留学
宿舍費	4950	円	495 ユーロ×10ヶ月
食費	3000	円	
図書費	50	円	
学用品費	50	円	
携帯・インターネット費	180	円	18 ユーロ×10ヶ月
現地交通費	140	円	定期券が70€/セメスターで購入可能(<input type="checkbox"/> 大 学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	200	円	
被服費	0	0 円	
医療費	0	0 円	
保険費	648	116,895 円	形態: オーストリアの国民保険(64,78/月) と、東京海上の留学保険
渡航旅費		200,000 円	
ビザ申請費	195	円	申請時 160€, 受け取り時に追加で 35€
雑費		円	
その他		円	
その他		円	
合計	9413	316,895 円	

渡航関連

渡航経路
往路 出発地:羽田 目的地:ウィーン 経由地:フランクフルト 復路 出発地:ウィーン 目的地:成田 経由地:
渡航費用
①往復チケットを購入した場合 航空会社:ANA 料金:約 20 万円 ②片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社: 料金: 復路 航空会社: 料金: ∴合計:
航空券購入方法
<input checked="" type="checkbox"/> 旅行代理店(店名:明大サポートを利用) <input type="checkbox"/> インターネット(サイト名:) <input type="checkbox"/> その他()
滞在形態関連
1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舍など)
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前:OEAD Tigergasse) <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ
2)部屋の形態
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 4 人で共有部分をシェア)
3)共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)
4)住居を探した方法:
寮の仲介業者(OeAD student housin)に直接連絡をして申し込みました。
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
コロナ禍で、オンラインで授業を受けることも多かったため、集中できる個室を選んでよかったです。ウィーン大学以外の学生も同じ寮に住んでいたため、色々な人と関わることができました。同じフラットの人以上とはほとんど関わる機会がなく、寮ではあまり友人は作れませんでした。
現地情報
1)留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例:現地の病院, 学内の診療所)
<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり(治療を受けた場所:現地の病院)
2)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。(例:留学先大学の相談窓口, 現地の友人等)
<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり(問題の内容や相談した人等:明治大学の国際支援事務室、保険会社など)
3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか?その際どのように対処しましたか?
基本的には安全な国ですが、ルームメイトが一度盗難に遭い警察に届け出を出していました。 日本と同じように、警察・保険会社に連絡することで解決できると思います。
4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 (例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)
寮・大学に Wi-Fi があるため、大学の授業を受ける際には Wi-Fi を利用していました。また、携帯用には現地で SIM カードを購入しました。EU 圏内ではどこでも利用できるプランで購入すると、旅行時に非常に便利です。
5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)
在留資格を取得するために、現地の口座が必要だったので、口座を開設しました。日本から Wise を利用して送金しました。学生証を見せれば、講座は簡単に開設できます。
6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。
日本屋というスーパーマーケットで日本食はほとんど入手できますが、値段が高いです。調味料など日頃から使うものは日本から持ってきた方がいいです。
7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
26 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 未定単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() ・履修の制限はありましたか? 特になし	
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人々へのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
East European Studies Thirth years after the fall of the Soviet Union	東ヨーロッパ研究 ソ連崩壊後の 30 年間
科目設置学部・研究科	政治学部
履修期間	冬学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 90 分が 1 回
担当教授	Tatiana Zhurzhenko
授業内容	担当教授以外にも、他大学の教授が政治や経済、歴史などのさまざまなテーマでソ連崩壊後のロシアについて解説してくれる。
試験・課題など	60 分の選択形式。コロナのため、オンラインでテストを行なった
感想を自由記入	ロシアや旧ソ連諸国などオーストリア以外の国出身の教授が教鞭をとってくださり、さまざまな角度から話を聞けて面白かった。ズームだからこそできた授業形式だと思う。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Kultur Japans	日本文化
科目設置学部・研究科	日本学科
履修期間	冬学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 90 分が 1 回
担当教授	Ina Hein
授業内容	伝統芸能や歴史など、日本の文化について幅広く学ぶ。
試験・課題など	解答可能時間が8時間レポート記述形式。授業はドイツ語であったが、試験は英語で記入が可。
感想を自由記入	ドイツ語開講の授業だが、パワーポイントが端的でわかりやすかった。教授も非常に明るく、質問しやすかった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
Landeskunde Japans		日本地理
科目設置学部・研究科	日本学科	
履修期間	冬学期	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式 (チュートリアル, 講義形式等)	
授業時間数	1週間に 90 分が 1 回	
担当教授	Ingrid Getreuer-Kargl	
授業内容	地理のアプローチから、気候や自然環境、宗教やお祭りなど日本の多角的から学ぶ。	
試験・課題など	90 分、持ち込み可能なオンライン形式のテスト。選択問題と記述問題、短答問題が満遍なく出題される。	
感想を自由記入	ドイツ語で大学の授業を履修することが目標であったため、達成感が大きかった。授業資料のレジュメが丁寧にまとめられているため、復習しやすい。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
Sprachenzentrum B1/1 Trimester German		B1/1レベルの 3ヶ月のドイツコース
科目設置学部・研究科	ウィーン大学付属の語学学校	
履修期間	冬学期	
単位数	4	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	少人数授業(チュートリアル, 講義形式等)	
授業時間数	1週間に 150 分が 2 回	
担当教授	Mag.a Doris Brenner	
授業内容	15人前後でドイツ語の4技能を満遍なく学ぶ。授業は全てドイツ語で行われる。	
試験・課題など	毎授業テキストから課題が出た。週1で作文の課題も出た。	
感想を自由記入	ドイツ語で話す・書く機会は日本ではほとんどないため、ドイツ語を集中的に学習できてよかった。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
East European Studies Eastern Europe since the Financial and the Covid 19 Crises		東ヨーロッパ研究 金融危機と COVID19 危機以降の東ヨーロッパ
科目設置学部・研究科	政治学科	
履修期間	夏学期	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)	
授業時間数	1週間に 90 分が 1 回	
担当教授	Dorothee Bohle	
授業内容	東ヨーロッパで起きた危機の要因や関係周辺諸国との関係などを解説。	
試験・課題など	60 分間での選択形式のオンライン試験	
感想を自由記入	パワーポイントがわかりやすかった。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
International Politics		国際関係
科目設置学部・研究科	政治学科	
履修期間	夏学期	
単位数	6	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	ゼミ形式(チュートリアル, 講義形式等)	
授業時間数	1週間に 90 分が 1 回	
担当教授	Sebastian Haug	
授業内容	国連の組織形態を紐解きながら、国際関係論について学ぶ。理論と、現状起きている問題の両方を取り扱った。	
試験・課題など	レポート提出 2 回と、10 分間のプレゼンテーション発表	
感想を自由記入	課題も多く、授業中でも議論への参加が求められたため、予習に時間がかかる授業であった。毎週3本の英語論文を読んだため、非常に力がついたと思う。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
International Human Right Law		国際人権法
科目設置学部・研究科	法学部	
履修期間	夏学期	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	演習形式(チュートリアル, 講義形式等)	
授業時間数	1週間に 90 分が 1 回	
担当教授	Ursula Kriebaum, Christina Binder	
授業内容	国際人権法の概念や考え方、地域ごとの法律(EU 法や)について判例を元に学んでいく。	
試験・課題など	レポート(欧州人権裁判所で実際に行われた裁判を事例にロールプレイを行い、) 90 分記述型のオンライン試験	
感想を自由記入	100 人近く履修者がいる授業でしたが、講義を聞くだけでなく、議論やレポートなど積極的に参加する期間が多く、学びになりました。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
Sprachenzentrum B1/2 Trimester German		B1/1 レベルの 3ヶ月のドイツコース
科目設置学部・研究科	ウィーン大学付属の語学学校	
履修期間	夏学期	
単位数	4	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	少人数授業(チュートリアル, 講義形式等)	
授業時間数	1週間に 150 分が 2 回	
担当教授	Mag.a, MA Martina Heuser	
授業内容	15人前後でドイツ語の4技能を満遍なく学ぶ。授業は全てドイツ語で行われる。	
試験・課題など	毎授業テキストから課題が出た。主に文法問題。週1で作文の課題。期末に 4 技能のテストがある。スピーキングテストは 3 分程度自分の意見を述べ、その後質疑応答に答える必要がある。	
感想を自由記入	ドイツ語で話す・書く機会は日本ではほとんどないため、ドイツ語を集中的に学習できてよかった。同世代の友人も多く作ることができた。	

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記 2 以降は記入不要)
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に活用したウェブサイト, 書籍, 機関など
3)就職を選択した方は, 差し支えなければ内定先を教えてください。また, その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前, あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※就職活動をこれから始める場合は, 差し支えなければ現時点で希望する業界, 職種等を教えてください。
4)就職活動中・終了に関わらず, 就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例: 留学中の就職活動へ向けた準備, 帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い, 留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※就職活動をこれから始める場合は, 留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
5)進学を選択した方は, 差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備, 試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は, その進路を選択した理由と, 留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備, 試験勉強, 留学中, 留学後, 特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例: 語学試験の勉強, 選考, 出願, ビザ申請・取得, 航空券購入, 予防接種, 滞在先の確保, 留学中の中間試験, 期末試験, その他イベント等

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	交換留学制度について調べ始める。語学試験の勉強など
	8月～9月	
	10月～12月	交換留学の選考に向け出願準備 / 面接などを行う
留学開始年	1月～3月	
	4月～7月	コロナで留学中止の連絡(4月)/留学に行けることに!(6月)
	8月～9月	寮や空港圏の予約、在留資格取得の準備などを大急ぎで行う
	10月～12月	冬学期開始 / ビザ申請 / クリスマス休暇(12月)
留学/帰国年	1月～3月	冬学期終了 / 冬休み(2月)春学期の履修登録/ 春学期開始
	4月～7月	イースター休暇(4月に2週間)/ 春学期終了 / 帰国
	8月～9月	帰国後就活を始める
	10月～12月	

留学体験記

この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

留学を通して私が最も大切にしていた価値観は「自分の感情に素直になって、挑戦してみること」です。私は、留学を成功させるためには、渡航前に目的を明確に定め、どれだけ計画をしっかり立てることが非常に重要だと考えています。しかし、私の留学生活は予想外のことばかりでした。コロナウイルスの流行がここまで長引くことも予想しておらず、渡航が一度キャンセルになった際には諦めそうにもなりました。最終的に渡航できましたが、予定していた飛行機もキャンセルになり、準備も直前までバタバタで、やっと到着できたと思ったら、現地でもロックダウンで1ヶ月ほとんど外出できなかつたり、授業もほとんどオンラインになってしまったり、現地で入院したりと、あげだしたらキリがなくなってしまうます。留学の目的は、自分の研究テーマである難民問題について深く研究することでしたが、履修しなかった授業はドイツ語が十分に理解できずに諦めてしまいました。ドイツ語の勉強不足や、他学部の授業も検討していなかった自分の計画不足ももちろんありますが、そこで諦めてしまうのではなく、代替策を考えることにしました。例えば、国際関係のゼミで難民をテーマに扱って発表してみたり、一日ボランティアに参加してみたりしました。なぜ「難民問題」に関心を持ったのか、なぜウィーンで学びたいのかを常に意識して、自分の「やってみたい！」という感情に素直になって行動してみました。その結果、その時その時自分にとって最適と思える決断ができたと思います。計画通りに進まない時に、うまくいかない現状に落ち込むのではなく、「感情に素直になってみて」一歩行動してみること後悔が少ない留学生活が送れると思います！頑張ってみてください。